



2023年5月24日(水)
国立大学法人岡山大学
5月定例記者会見
〔補足資料:公開版〕

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業」採択 と今後の取組概要について

国立大学法人岡山大学
学長
那須 保友

副理事(研究・産学共創総括担当)・副学長(学事担当)・URA
佐藤 法仁

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」について

日本全体の研究力を向上させるためには、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と同時に、地域の中核となる大学や特定分野に強みを持つ大学など、実力と意欲を持つ多様な大学の機能を強化していくことが重要であり、「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」(令和4年2月1日、総合科学技術・イノベーション会議決定)を取りまとめられました。

今後、地域中核・特色ある研究大学が、特色ある研究の国際展開や、地域の経済社会や国内外の課題解決を図っていけるよう、特定の強い分野の拠点等を核に大学の活動を拡張させるとともに、大学間での効果的な連携を図ることで、研究大学群として発展していくことが重要です。

本事業では、強みや特色ある研究、社会実装の拠点等を核とした研究力の向上戦略の下、その実現に向けて、研究力の向上戦略の実行に必要な共同研究や産学官によるオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備を支援することで、地域中核・特色ある研究大学で生まれた研究成果を基にした国内外の社会課題解決やスタートアップ創出を含めた新産業の創出などのイノベーションに結び付け、大学の機能強化を図ります。



10兆円大学ファンド創設と地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ



個人に着目した優秀な博士課程学生への支援



背景・課題

- ✓ 我が国全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のためには、大学ファンド支援対象大学と地域中核・特色ある研究大学とが相乗的・相補的な連携を行い、共に発展するスキームの構築が必要不可欠
- ✓ そのためには、地域の中核・特色ある研究大学が、特定の強い分野の拠点を核に大学の活動を拡張するモデルの学内への横展開を図るとともに、大学間で効果的な連携をはかることで、研究大学群として発展していくことが重要

【国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案に対する附帯決議（衆・参）】
 四 政府は、我が国の大学全体の研究力の底上げを図るため、個々の大学が、知的蓄積や地域の実情に応じた研究独自色を発揮し、研究大学として自らの強みや特色を効果的に伸ばせるよう、国際卓越研究大学以外、特に地方の大学への支援に十分配慮することとし、地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの大幅拡充等により、十分な予算を確保すること。

【経済財政運営と改革の基本方針2022（令和4年6月閣議決定）抄】
 ・地域の中核大学等が、特色ある強みを発揮し、地域の経済社会の発展等への貢献を通じて切磋琢磨できるよう、産学官連携など戦略的経営の抜本強化を図る。

事業内容

研究力の飛躍的向上に向けて、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下、大学間での連携も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフトが一体となった環境構築の取組を支援

【地域中核・特色ある研究大学強化促進事業】 1,498億円

- 事業実施期間：令和4年度～（5年間、基金により継続的に支援）
- 支援件数：最大25件（申請毎に複数大学で連携）
- 支援対象：
 - 強みや特色ある研究、社会実装の拠点（WPI、共創の場等）等を有する国公立私立大学が、研究力強化に有効な他大学との連携について協議のうえ、研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下する取組（単独大学での申請及び国際卓越研究大学への申請中の大学を含む申請は対象外）
 - ※ 5年目を目途に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるよう、文科省及びJSPSにおいて取組を継続的に支援（最長10年を目途）
- 支援内容：
 - 上記を具現化するために必要な設備等の整備（30億円程度/件）と合わせて、研究開発戦略の企画や実行、技術支援等を担う専門人材の戦略的な配置や活動、研究環境の高度化等に向けて必要となる環境整備等の取組（5億円程度/件・年）を一体的に支援。
 - （注）設備について1大学あたり上限15億円、1件（申請）あたり支援総額は連携大学数等に応じて決定。

【地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業】 502億円

- 単価・件数：平均20億円程度 × 最大25件
（1大学あたり上限10億円、申請毎の連携大学数・内容等に応じて交付額を決定。）
- 支援内容：（注：支援対象は「地域中核・特色ある大学強化促進事業」に同じ）
研究力の向上戦略の下、大学間の連携を通じて地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学による取組に対し、共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要となる施設の整備を支援

【支援のスキーム（基金）】



- 強みを有する大学間での連携による相乗効果で、研究力強化に必要な取り組みの効果を最大化
- 特定領域のTOP10%論文が世界最高水準の研究大学並みに
- 強みや特色に基づく共同研究や起業の件数の大幅増加、持続的な成長を可能とする企業や自治体等からの外部資金獲得

- ✓ 研究を核とした大学の国際競争力強化や経営リソースの拡張
- ✓ 戦略的にメリハリをつけて経営リソースを最大限活用する文化の定着

我が国の科学技術力の飛躍的向上
 地域の社会経済を活性化し課題解決に貢献する研究大学群の形成

地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業 採択大学一覧

| 国/公/私 | 提案大学（連携大学 [※] ） |
|--------------|---------------------------|
| 国立大学 (22) | 弘前大学 |
| | 山形大学 |
| | 千葉大学 |
| | 東京農工大学（電気通信大学） |
| | 東京芸術大学（香川大学） |
| | 新潟大学 |
| | 長岡技術科学大学 |
| | 金沢大学 |
| | 山梨大学 |
| | 信州大学 |
| | 浜松医科大学 |
| | 豊橋技術科学大学（静岡大学） |
| | 滋賀大学（滋賀医科大学、京都女子大学、京都橘大学） |
| | 神戸大学 |
| | 島根大学 |
| | 岡山大学 |
| | 広島大学 |
| | 愛媛大学（高知大学） |
| | 九州工業大学 |
| | 長崎大学（宮崎大学、鹿児島大学） |
| | 熊本大学 |
| | 総合研究大学院大学 |

| 国/公/私 | 提案大学（連携大学 [※] ） |
|-------------|--------------------------|
| 公立大学 (2) | 横浜市立大学 |
| | 大阪公立大学 |
| 私立大学 (6) | 自治医科大学 |
| | 慶應義塾大学 |
| | 順天堂大学（山梨大学） |
| | 藤田医科大学（浜松医科大学） |
| | 立命館大学 |
| | 沖縄科学技術大学院大学 |

※連携大学とは、提案大学とともに施設整備を予算措置する大学



https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_01231.html

文科省「研究大学強化促進事業」

(平成25年度～令和4年度:22機関)

地域中核・特色ある研究大学 強化促進事業

目的

強み研究領域において、世界で研究の量、質ともに存在感を示し、また、産学官連携等によるイノベーション創出、地域創生を進め、日本の研究活動の牽引大学となる

これまでの実績・取組状況

【将来構想1】優れた研究推進体制を持つ大学

- ◆ URA制度整備及び定着(自主財源での雇用、無期雇用、企画業務型裁量労働制)
- ◆ 研究推進機構の設置
- ◆ 重点研究分野(15領域)の選定
- ◆ 研究IRを活用した人事戦略・評価システムの構築
- ◆ IR/IE室企画会議の設置
- ◆ 価値創造統合リスクマネジメント(ERM)本部の設置

【将来構想2】世界的な学術研究を推進する大学

- ◆ 先進的研究の創出
 - 重点研究分野における拠点:14拠点
 - 研究プロジェクト支援数:80件
 - 研究教授:14名、研究准教授:13名
 - 欧州の助成事業:3件採択
 - 支援した拠点・研究者の業績(2016-2018年比)
論文数:40%増、国際共著論文数:50%増
Top10%論文数:63%増
外部資金獲得額:780,863千円増

【将来構想3】イノベーションを推進する大学

- ◆ オープンイノベーションプラットフォーム(イノベーション・マネジメント・コア)の設置
- ◆ 岡山県 企業と大学との共同研究センターの設置
- ◆ 企業との共同研究費:65%増(2015年比)
- ◆ 特許権実施等の収入:114%増(第2期中期目標期間比)

今後5年間程度の将来計画

2022～2027 岡山大学ビジョン3.0

有りたい未来を共に育み共に創る研究大学

高度専門人材の人事制度改革

- 高度専門人材の育成・確保
- 高度専門人材の人事給与システム改革

エビデンスに基づく「ひと・もの・カネ」の重点投資

- IR/IE機能の更なる強化
- 人事戦略・評価委員会、研究評価システム
- RECTORプログラム拠点の新設
- 国際研究拠点の形成支援
- 博士後期課程学生・若手研究者支援

イノベーションマネジメントコア(IMaC)の発展・拡充

- 財政基盤の強化、収入財源の多様化
- 「組織」対「組織」の共創活動の加速

コアファシリティの本格実施

- 研究機器・設備の共用による好循環(研究環境の充実と有益性の向上)

統合リスクマネジメント/内部統制の強化

評価指標※

| | |
|-------------|-------|
| Top10%論文数 | 10%増 |
| 国際共著論文数 | 15%増 |
| 民間企業との共同研究費 | 30%増 |
| 若手研究者の論文数 | 50%増 |
| 研究機器の学外利用料 | 200%増 |

※第4期中期計画における指標

岡山大学長期ビジョン2050

地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学

研究大学強化促進事業の最終評価について

| 評点区分 (評点の目安) | 事後評価 結果 | 機関の分布 |
|---|----------------|---|
| S (特筆すべき成果を上げており、将来計画に基づく事業終了後の発展が大いに期待できる) | 8機関 (36.4%) | 東北大学、東京工業大学、京都大学、大阪大学、 岡山大学 、広島大学、早稲田大学、自然科学研究機構 |
| A (想定された成果を上げており、将来計画に基づく事業終了後の発展が期待できる) | 11機関 (50%) | 北海道大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、電気通信大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、神戸大学、熊本大学、奈良先端科学技術大学院大学、慶應義塾大学 |
| A- (想定された成果を上げており、将来計画に基づく事業終了後の発展が期待できる) | 3機関 (13.6%) | 九州大学、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構 |
| B (おおむね成果を上げているが、将来計画に基づく事業終了後の発展には一層の努力が必要である) | — | — |
| C (想定を下回る成果であり、将来計画に基づく事業終了後の発展は難しいと思われるので将来計画の再検討が必要である) | — | — |
| D (想定を大きく下回る成果であり、将来計画に基づく事業終了後の発展が見込めない) | — | — |



https://www.mext.go.jp/content/20230322-mxt_gakjokik-000028949_1.pdf

岡山大学は戦略的かつ、着実に研究大学としての歩みを進めています。採択された「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」などを加速とし、今後さらなる研究力強化・イノベーション創出を精力的に行います。

文科省「研究大学強化促進事業」

(平成25年度～令和4年度:22機関)



地域中核・特色ある研究大学 強化促進事業

内閣府「国立大学イノベーション創出 環境強化事業」(令和2～3年度)

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9724.html



- ①マネジメントの強化と高度専門人材の充実
- ②教育研究の価値や既存ネットワークや研究基盤プラットフォームを「収益の価値」に転換
- ③ビジネスに直結している医療系活動を強化した「収益の増強」を推進
- ④出遅れているスタートアップやベンチャーとの協働活動の「流れ」をつくり「収益の芽」を育てる

文科省「国立大学経営改革強化促進 事業」(令和3年度、令和4年度)

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000270.000072793.html>

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000001031.000072793.html>



R3

- ①国家戦略特区への参画を通じた地域課題の解決と新たな産学連携体制の構築
- ②強み分野である医療へのリソース集中による国内外企業との産学共創の加速とそれによる財源の多様化及び経営基盤の強化
- ③学内機器共用化の促進及びERM(Enterprise Risk Management)の全学展開によるイノベーション・マネジメント機能の更なる強化



R4

- ④知識創造経営システムの充実強化(価値創造ナレッジマネジメントオフィスの創設・運用)
- ⑤医療系分野における外部資金獲得策の拡充
- ⑥国際研究拠点形成(RECTOR)プログラムの進化・加速化を核とした「研究力PowerUp戦略」
- ⑦Misson・Projectベースオープンラボの構築(「セキュアDX人材育成」を推進)

世界と伍す多様な叡智が集う学術(学部・研究所)、最先端の分析や解析などが集うテクノロジー施設、そして次世代を担う人材(学生ら)が集う場を活用・集積した点を地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業で、新たな「**岡山大学イノベーション・commons(共創拠点)**」として整備。



学内集積による イノベーション・commons

医療のイノベーション・commons
(岡山大学鹿田地区/岡山大学病院)

農作物のイノベーション・commons
(岡山大学資源植物科学研究所(倉敷))

惑星科学のイノベーション・commons
(岡山大学惑星物質研究所(三朝))

学内集積を転換し、学外と共による イノベーション・commons

地域中核・特色ある研究大学の連携
による産学官連携・共同研究の施設
整備事業でのイノベーション・commons

「地域中核・特色ある研究大学:岡山
大学が地域と共に進める新たなイノ
ベーション・commonsの組成」

世界と伍す研究力とデジタル田園健
康特区を核とした「自然・環境・社会・
個人などに対するウェルビーイングの
価値創出」を担う。





岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL
1870

【本件お問い合わせ先】

国立大学法人岡山大学 研究協力部 研究協力課

TEL:086-251-7115

E-mail: innovation@adm.okayama-u.ac.jp